

注意事項

失格とならないように、注意事項は必ず確認してください！

応募作品の撮影日について

- 2022年1月1日以降に撮影された作品のみ受け付けます。

以下の事項のいずれかに該当する作品は応募できません

それぞれの事項への該当の有無については、関連する諸事情を総合的に考慮して、主催者がその裁量により判断いたします。

- (i) 応募作品と同一または類似の作品であって、規模の大小にかかわらず、作品の審査を伴う他の写真コンテスト・コンクールにおいて、応募中もしくは応募予定の作品、または過去に入賞・入選した作品。なお、応募作品との同一・類似の判断は、各作品の撮影時期、撮影技法、構図、作画の意図等さまざまな事由を総合的に考慮して、主催者がその裁量により行うものとします。

- (ii) 応募作品と同一または類似の作品であって、応募の前後を問わず、また媒体・形式を問わず、第三者に対して有償で販売・譲渡されている、または過去に有償で販売・譲渡・商用利用されていた作品。なお、応募作品の有償での販売・譲渡を目的としないことが明らかな形式・態様により出版物やウェブサイトに掲載されている作品(応募者本人のものを含む)または画像投稿サイト・SNS等に投稿されている作品は応募できます。

- (iii) 差別的表現・誹謗中傷・名誉棄損・迷惑行為にあたる作品や、そのおそれがあると判断した作品。法令・公序良俗に違反する作品や、そのおそれがあると判断した作品。

- (iv) ネイチャーフォト部門では、合成・レタッチなどの加工写真は不可となります。また、人物、ペット、人工物などが主題とみられる作品も規定外とみなします。詳しくは公式ウェブサイトのFAQをご確認ください。

- (v) 富士フイルムホールディングス株式会社および関係会社の従業員は応募できません。

被写体の肖像権等について

- 応募作品の被写体に人物が含まれている場合は、当該被写体ご本人(被写体が18歳未満の場合は、その保護者)から応募者による作品の応募に関して必要の同意を取得し、被写体の方の肖像権等の侵害の問題が生じないことを応募の条件とします。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

被写体の著作権等や画像生成AIについて

- 応募作品は、応募者本人がスチル写真(静止画)として撮影し、全ての著作権を有しているものに限りります。他人の名前を使用した場合や、他人の著作物を引用した場合は失格になります。また、AIを利用して生成された作品やVR(仮想空間)で撮影した作品は応募できません。
- 主催者は、応募作品または入賞作品がこの注意事項に違反している、または法令などに違反していると合理的に判断した場合、応募者または入賞者に通知のうえ、当該応募を無効とし、入賞を取り消します。前記に基づき入賞が取り消された場合、入賞者は、主催者に対して賞金、賞品、賞状を返還するものとします。返還に伴い発生した一切の費用は、応募者の負担となります。

第64回 富士フイルムフォトコンテスト

「学生部門」を新設

Student
Category
Award



大きな印画紙プリントで応募する新体験

今年は写真が好きな学生の方々に応援する「学生部門」を新設しました。豊かな感性をお持ちです。撮影はカメラでもスマホでも写ルンですでもOK。印画紙プリントの高品質(光沢感や再現性)を楽しみながら応募ください。

- 学生部門の応募資格: 小学生、中学生、高校生、大学生、各種専門学校など、年齢は問いません。入賞された方には学生であることが確認できる身分証(学生証等)のコピーを提出いただきます。応募される方が未成年の場合、保護者の同意をご確認ください。



写真が学べるフォトコンテスト

● 写真のレベルがわかるシール

一次選考通過作品など、レベルのわかるシールを貼り返却します。



● ワンポイントアドバイス

選外作品には当社フォトアドバイザーによる「ワンポイントアドバイス」を付けて返却します。(1人につき1点/希望者のみ/有料1,100円税込)
作品が複数の場合は、アドバイザーが1点選択します。



入賞された方々には特典をご用意しています。

- 賞状盾の贈呈 ● 作品集の贈呈
- 作品のプリントパネルの贈呈
- 入賞作品展



宣伝物コード: 50002683

FUJIFILM
Value from Innovation

64th

富士フイルム
フォトコンテスト

作品募集

第63回 富士フイルムフォトコンテスト入賞作品



- 自由写真部門
- ネイチャーフォト部門
- 組写真部門
- アンダー39部門
- 学生部門【新設しました】

フジコン
大賞

賞金100万円

募集期間 2025年

9月1日(月)~10月20日(月)

※当日消印有効

応募方法

自由写真部門 / ネイチャーフोट部門 / 組写真部門 / アンダー39部門 / 学生部門

1 作品をプリント

作品はカラー・モノクロを問わず、お店プリント※1またはご自身で制作された銀写真プリント(印画紙)に限ります。

※1: お店プリントとは、写真専門店、現像所で制作されたプリントのことです。スライドやデータでの応募はできません。※ご自宅や学校で出力したインクジェットでは応募できません。

- 額装や台紙、パネル、バックシート、ラミネートを貼った写真は受け付けません。
- ネイチャーフोट部門について: 合成・レタッチなどの加工写真は不可となります。また、**自然が主題であれば人物、ペット、人工物などが写っていても可**。応募方法の詳細は裏面の「注意事項」を必ず確認してください。

プリントサイズ: 全部門共通

六切・六切ワイド・A4・四切・四切ワイド

六切	六切ワイド	A4	四切	四切ワイド
				
203×254mm	203×305mm	210×297mm	254×305mm	254×366mm

※余白部分を含まず。※組写真部門は画像の縦横比も統一。

2 「応募者情報用」の応募票を記入

「応募者情報用」の応募票(緑色)に記入漏れがないようにご注意ください。複数枚ご応募の際でも、この緑色の応募票は1枚のみです。

3 「作品貼付用」の応募票を記入

「作品貼付用」の応募票(赤色)に記入漏れがないようにご注意ください。複数枚ご応募の際は、応募枚数分を記入してください。

● 「作品貼付用」の応募票を作品裏面に天地を同じ方向に貼付してください。



4 ビニール袋に作品と「応募者情報用」の応募票を入れる

応募1点の場合

- 応募票(赤)を作品裏面に貼付
 - 作品を透明のビニール袋に入れる
 - 応募票(緑)を透明ビニール袋に同梱
- 応募票(緑)は作品には貼り付けなくても大丈夫。

複数枚応募の場合

- 応募票(赤)を作品ごとに裏面に貼付
 - 1枚の透明ビニール袋に作品1点を入れる
 - ビニール袋に入れた各作品を1枚のビニール袋に入れる
 - 応募票(緑)を透明ビニール袋に同梱
- 応募票(緑)は作品には貼り付けなくても大丈夫。

組写真部門の応募方法について

- 4枚1組とし、1作品と数えます。画像の縦横比・プリントサイズは統一してください。
- 「縦位置4枚」・「横位置4枚」のどちらかに統一してください。縦位置と横位置の混在は応募できません。右記の順番で4枚並べ審査、展示いたします。
- 他の応募作品と混在した場合は審査の対象外となります。
- 4枚1組で1つの画題となりますのでご注意ください。
- 複数名でのご応募は審査の対象外となります。

● 応募票(赤)を作品ごとに裏面に貼付



3分の動画でわかりやすく説明
半写真、複数枚、組写真など、応募時の諸注意については動画もご確認ください。

応募方法について

- 1人、何部門でも、何点でも応募できます。
- 同一写真を複数部門へ重複して応募できません。
- 規定外のサイズや台紙、パネル、バックシート、ラミネートを貼った写真は失格になります。
- 使用カメラ、フィルム、印画紙(インクジェット不可)の銘柄に制限はありません。
- 応募票の各項目は全て楷書で記入し、氏名と画題には必ずふりがなを付けてください。

応募者の年齢・応募資格について

- 応募者が18歳未満の場合、作品の応募について、事前に保護者の承諾を得ていることを応募の条件とします。
- アンダー39部門の応募資格は、2025年10月末現在39歳以下の方となります。入賞された方には生年月日の確認できる身分証(健康保険証、パスポート、運転免許証等)を提出いただく場合があります。
- 学生部門に年齢の制限はありませんが、応募者が18歳未満の場合、作品の応募について、事前に保護者の承諾を得ていることを条件とします。入賞された方には学生であることが確認できる身分証(学生証等)のコピーを提出いただきます。
- 学生部門の応募資格は、2025年10月末時点で小学生、中学生、高校生、大学生、各種専門学校などに在席中の方に限ります。

入賞について

- 同一の部門において1人1賞とします。
- 入賞決定後においても、この応募規定への違反がある主催者が判断した場合は、入賞を取り消すことがあります。
- 入賞候補になった応募作品のデータまたはフィルム原板は、通知次第で提出ください。
- 応募者は、本コンテストへの応募をもって、応募作品が入賞した場合におけるその作品の使用権を主催者に許諾することにより、印刷展示、出版物やインターネットでの掲載、宣伝広告などのために無償かつ優先的に入賞作品を使用させていただきます。応募作品が入賞した応募者(以下「入賞者」といいます)は、自らまたは第三者をして入賞作品を本コンテスト以外において公表・使用する場合は、事前に主催者に通知のうえ承諾を得ることが必要となります。
- 入賞者は、主催者の承諾に基づき自らまたは第三者をして



キリトリ線

「応募者情報用」と「作品貼り付け用」の2種類にご記入ください。

この「応募者情報用」は**作品には貼付せず**、おひとりにつき1枚を透明のビニール袋に同梱してください。

第64回 富士フィルムフォトコンテスト応募票

応募者情報用

〒 - 住 所 都 道 府 県 市 郡 区

TEL 携帯電話 ふりがな 氏 名 姓 名

男・女 男 女 年 令 年 写 真 歴 年 月 日 電 子 郵 件 番 号

作品の返却 ※レベシール付き 希望される場合は☒ チェックしてください ☐ 返却のみを希望(1,100円税込) ☐ ワンポイントアドバイス(1,100円税込)付きで返却(1,100円税込)を希望(合計2,200円税込) ※作品の返却についての注意事項を必ずご確認ください

応募される作品数 合計 作品

販売店記入欄(応募者の方の記入は不要です) 販売店名 一括返却 No

(天)

この「作品貼付用」は必ず作品裏面に貼付してください。太枠内の全ての項目をご記入ください。

第64回 富士フィルムフォトコンテスト応募票

作品貼付用

ふりがな 氏 名 応募部門を1つ選び、☒ チェックを入れてください ☐ 自由写真部門 ☐ ネイチャーフォト部門 ☐ 組写真部門 枚目/4枚 ☐ アンダー39部門 ☐ 学生部門 学校名(必須):

ふりがな 画 題 (タイトル) 撮影地

撮影年 ☒ 2022 ☐ 2023 ☐ 2024 ☐ 2025 本作品の撮影に使用したカメラ☒ チェックしてください ☐ デジタルカメラ メーカー名: 機種名: ☐ フィルムカメラ メーカー名: 機種名: ☐ フィルムカメラ メーカー名: 機種名: ☐ スマートフォン メーカー名: 機種名:

レベシール貼付スペース

返却ご希望の方には一次選考通過作品、最終選考作品等、どの段階だったかわかるシールを貼り返却します。

レベシールがわかるシール

★個人情報取り扱いについて

応募票記載の個人情報について 1. 応募票に記載いただく個人情報(以下「個人情報」といいます)は、入賞通知・賞品などの送付・作品返却など本コンテストの運営および当社のイメー징・マーケティング関連の商品やサービスについてのお知らせのため(以下「利用目的」といいます)に、必要な範囲で使用させていただきます。また、これら利用目的の範囲で業務委託会社に個人情報を開示する場合があります。2. 当社は、個人情報を富士フィルムホールディングス株式会社のグループ会社と次のおり共同利用することがあります。共同利用する個人情報の項目: 氏名、住所、電話番号、FAX番号、eメールアドレス、共同利用の範囲: 富士フィルムホールディングス株式会社のグループ会社、共同利用の利用目的: 利用目的の達成に必要な範囲、共同利用する個人情報の管理責任者: 富士フィルム株式会社 3. 個人情報を個人を特定することができないよう統計的に加工・分析したうえで、利用させていただく場合があります。4. 入賞発表、作品集、作品展に展示、広告に使用させていただく場合があります。記載いただいた撮影者の氏名や都道府県名を明示させていただく場合があります。

<一般企画>

テーマは自由。

自由写真部門

審査員 清水 哲朗

審査員プロフィール：清水 哲朗（しみず けいろう）



横浜生まれ。23歳でフリーランスに。独自の視点で自然風景から動物、スナック、ドキュメンタリーまで幅広い鑑影。主な出版物は「New Type」「おたまじゃくし Genetic Memory」「トウキョウカラス」「うまたび - モンゴルを20年間取材した写真家の記録-1。第1回日本取洋之助写真賞、2014年日本写真協会賞新人賞、2016年さかひはら写真新人奨励賞受賞。公益社団法人日本写真家協会理事 日本芸芸学部写真賞評議員非常勤講師

テーマは自然風景、動植物、昆虫、水中写真など、自然が主題であること。

ネイチャーフोट部門

審査員 高砂 淳二



審査員プロフィール：高砂 淳二（たかさご じゅんじ）Takasago Junji
1962年、宮城県石巻市生まれ。熱帯から極地まで地球そのものをフィールドに鑑影活動を行っている。著書は30冊を超え、国内外で写真展多数開催。TBS「情熱大陸」、NHK「SWITCH インタビュー」をはじめ、テレビ、ラジオ、雑誌等のメディアや講演会などで、自然のことを幅広く伝えていく。ロンドン自然史博物館主催「WILDLIFE PHOTOGRAPHER of the YEAR 2022」自然芸術部門で最優秀賞を受賞。海の環境 NPO 法人 OWS (The Oceanic Wildlife Society) 理事。

フジコン大賞
賞金100万円

フジコン大賞 / 賞金100万円
全5部門の作品の中から
フジコン大賞1点を選出します

応募部門と各賞	自由写真	ネイチャーフォト	組写真	アンダー39	学生
フジコン大賞	1名 50万円	1名 50万円	1名 10万円	1名 10万円	1名 10万円
グランプリ	1名 3名 各20万円	2名 各20万円	2名 各5万円	2名 各5万円	2名 各5万円
金賞	5名 各7万円	5名 各7万円	3名 各3万円	3名 各3万円	3名 各3万円
銀賞	15名 各3万円	15名 各3万円	5名 各2万円	5名 各2万円	5名 各2万円
銅賞	30名	30名	10名	10名	10名
優秀賞	30名	30名	10名	10名	10名
副賞	(入賞者全員)●賞状●●作品集●作品のプリントパネル				



入賞作品が掲載された作品集、入賞作品展用に特別にプリントした高級感あるパネルを全ての入賞者に贈呈します。さらに審査員を招いた表彰式も予定しています。

作品集 (イメージ) 作品のプリントパネル

学生部門を新設

あなたの最高の作品をお待ちしています

<特別企画>

4枚1組で表現する組写真。テーマは自由。

組写真部門

審査員 GOTO AKI

審査員プロフィール：GOTO AKI



1972年川崎市生まれ。1993年の世界一周の旅から現在まで56カ国を巡る。風景鑑影に自然科学の視点とスナック撮影の手法を取り入れ、地球生命の胎動を捉える創作を続ける。個展「LAND ESCAPES」「LAND ESCAPES FACE」「terra」等開催。2020年、写真展・写真集「terra」で日本写真協会賞新人賞を受賞。日本大学芸術学部准教授。

39歳以下の応募者を応援。テーマは自由。

アンダー39部門

審査員 川島 小鳥

審査員プロフィール：川島 小鳥（かわしま ことり）Kawashima Kotori



早稲田大学第一文学部仏文科卒業。主な作品に「BABY BABY」未来ちゃん、『明星』、谷川俊太郎との共著『おやすみ神たち』、『ファーストアルバム』、『運』、『Violet diary』、小瀬陽介との共作『飛びます』、『おはようもしもあいしてる』、『まほう』がある。第42回講談社出版文化賞写真賞、第40回木村伊兵衛写真賞を受賞。

アンダー39部門の応募資格は、2025年10月末現在39歳以下の方となります。

学生の方々のコンテストデビューを応援。テーマは自由。

新設 学生部門

審査員 鶴川 真由子

審査員プロフィール：鶴川 真由子（うかわ まゆこ）Ukawa Mayuko



大阪府出身。広告や雑誌など商業写真の分野でポートレート撮影を中心に活動する他、レビュアや雑誌でも務める。またパーソナルワークとして都市と人との関わりに着目し作品制作を続けている。個展やグループ展など多数開催。主な作品に「LAUNDROMAT」(2021年)・「WONDERLAUND」(2022年)・「海辺のカノコ」(2025年)などがある。

小学生、中学生、高校生、大学生、各種専門学校など、年齢は問いません。

2025年10月末時点で学校に在席の方に限ります。

写真教室やカルチャースターの受講は対象外となります。

写真のレベルがわかるシール

一次選考通過作品、最終選考作品などレベルのわかるシールを貼り返却します。



ワンポイントアドバース

選外作品には当社フォトアドバイザーによる「ワンポイントアドバイス」を付けて返却します。

(1人につき1点/希望者のみ/有料1,100円税込)
作品が複数の場合は、アドバイザーが1点選択します。

募集期間

2025年9月1日(月)～10月20日(月)

※当日消印有効

作品送付先
〒205-0023 東京都羽村市神明台2-10-8
(株)富士フィルムメディアアクセスト内4F
「富士フィルムフォトコンテスト事務局」宛

※作品の返却料・ワンポイントアドバイス料は、後日(3月予定)発送する振込用紙でお支払いください。

定額小為替・切手・現金は受け付けておりませんのでご注意ください。

ワンポイントアドバース付き返却をご希望の方
応募票下段「ワンポイントアドバイス(1,100円税込)付きで返却(1,100円税込)を希望」を☑チェックしてください。

ワンポイントアドバース料は1人あたり1,100円

税込です。アドバースは何枚ご応募いただいても、おひとり1作品とさせていただきます。複数作品、複数部門に応募されている場合は、フォトアドバイザーが作品を1点選択させていただきます。

※入賞作品は、ワンポイントアドバースの対象外です。

詳しい情報、昨年度の入賞作品などは公式ウェブサイトへ。

富士フィルムフォトコンテスト 検索



「応募&返却サポート店」で作品をプリント、応募票を準備して渡すだけで応募完了です。各エリアのお店一覧は公式ウェブサイトでご確認ください。

富士フィルム フォトコンテスト サポート店 検索

入賞候補者への通知 2026年1月中旬まで

入賞者への確定通知 2026年2月中旬頃

入賞者の発表 2026年3月下旬 富士フィルムフォトコンテスト公式ウェブサイトとフォトコン4月号にて発表予定

表彰式 2026年4月開催予定

入賞作品展 2026年4月以降、全国各地の富士フィルムフォトサロン他で開催予定

※入賞作品展は、やむを得ず中止、変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。



THIS IS MECENAT 2024
本フォトコンテストは、2024年公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。